

2010年 F4西日本シリーズ Rd.1 吉田広樹

〈岡山国際サーキット〉

今シーズンも昨シーズンに引き続き「Team NAOKI With LE PRIX SPORT」より、F4西日本シリーズに参戦させていただくことになり、大変うれしく思います。このチャンスをご用意して下さったチームオーナーの服部尚貴さんやレプリスポーツの館代表、そしてこの経済状況の中、支援して下さるスポンサー様を始め、沢山の関係者の方々、本当に感謝しています。

昨シーズンはシリーズランキング2位という悔しい結果に終わってしまいましたが、今シーズンはチャンスをくださった皆さんの為にもシリーズチャンピオン&日本一決定戦の優勝という結果を最低条件にシリーズを戦いたいと思います。

2月26日 フリー走行 WET

まだ冬空の中、岡山国際サーキットで開幕したF4西日本シリーズ。今シーズンの大きな特徴としてワンメイクで供給されていたヨコハマタイヤのフロントタイヤのみのサイズ変更が上げられます。更にこのタイヤ変更の影響から昨年に比べると一発のグリップをセーブし、タイムの落ち込みを抑える方向性が見受けられました。

今シーズンの初走行になったこの日は完璧なWET走行となり、WETタイヤも同様の変更点があるため新しいWETタイヤで積極的に周回を重ねます。マシンの感触を確かめると共にタイヤの特性もつかむ為にも先ずはあまりセット変更を行わず走り込みました。最後の走行では雨量も増えてきたことから少しずつセッティングを変更しながら走ったのですが、日曜の予報が晴れだったこともあり、この日は早めに走行を切り上げることにしました。



2月27日 フリー走行 WET→DRY

前日の土砂降りから一夜明け、この日は曇り空の中セッションが開始されました。前日のレインコンディションもあり、この日は変更されたドライタイヤでの距離を稼ぐため、セッション開始と共にコースイン。この日初めてこのNEWタイヤを使用したのですが、昨年までのタイヤに比べフロントの温まりが悪く、計測2周目にアタックした際にはリアタイヤのみ温まった状況からひどいアンダーステアでした。これはフロントタイヤがワイドになった点とショルダー部分が硬くなったことから起ったと見られ、周回を重ねると更にマシンバランスは変化します。その後はリアのグリップが徐々になくなってくる傾向にあったため、レース終盤を想定したセットチェンジを行い、レース周回を安定したタイムで走りきれるようなセッティングを目指しました。最後にもう一度NEWタイヤを使用し、フロントを積極的に温めアタックするシュミレーションを行いたかったのですが、時間やコンディションが良くなかったことから、最後のフリー走行はこのまま終えることとなりました。



2月28日 公式予選 WET 2番手 (12台中)

2日間のフリー走行を終え、迎えた公式予選・決勝日。空には青空が広がっているものの完璧なWET路面。自分たちの予選前にも他のカテゴリーの予選が行われたのですが、路面が乾くことはなく殆どのドライバーがレインタイヤでの予選を選択しました。天気も良かった事から路面はどんどん乾いていく方向であり、15分間の予選のうち勝負は最後の最後までと確信します。

予選が始まりアウトラップからプッシュします。そのまま先

Team Naoki

with

Le Prix Sport

<NO.1>

2010年 F4西日本シリーズ Rd,1 吉田広樹

〈岡山国際サーキット〉

頭でアタックを続け、周回を重ねるごとに徐々にタイムを縮めます。

路面が完全に乾くことはなかったのですが、タイヤへの負担も考えコーナー以外は出来るだけ水のある部分を選んでタイヤを冷やしながらか走りしました。毎ラップ0.3秒くらいずつタイムを縮めトップをキープしていたのですが、残り時間もわずかとなった最終ラップ、ついにタイヤが壊れ始めタイムを更新することが出来ませんでした。その結果、最終ラップに逆転されてしまい2番手で公式予選を終えることとなりました。今後の課題として、このような状況の時は水があるところを選ぶだけではなく、一旦アタックを止めタイヤを冷やして再度アタックを行うなど、レインタイヤの使い方やライフも考えながらやっていきます。

決勝 DRY 優勝 (12台中)

予選を終え午後に入り、路面は完璧なDRYコンディションとなりました。セッティングを昨日のフリー走行で試したレースセットに変更してコースイン。今シーズンのNEWタイヤの特徴であるフロントタイヤの温まりが遅いところを意識して、積極的にフロントタイヤに熱を入れグリットにつきます。シグナルに集中し、いよいよ2010年の開幕です。

シグナルレッド・消灯・スタート！

しかしここで1速にギヤが入りにくかったことから、完璧に出遅れてしまいます。トップとの差は大きく開いたものの、どうにかポジションキープで1コーナーへ。昨日までのフリー走

行から、焦らず落ち着いて走れば問題ないことはわかっていたので、落ち着いてトップの隙を伺います。アウトラップのバックストレートでは、すでにテールトゥノーズに持っていくことができ、2周目に入った2コーナーで相手が挙動を乱します。その隙を見逃さず、続くアウトウッドコーナーの進入で相手のイン側にマシンをねじ込みオーバーテイク。その後はタイヤも温まってきたことから、どんどんプッシュし、後続を引き離すと共にファステストラップを連発します。その結果、レース後半に入ってもペースが落ちることはなく、最終的に2位に6秒の差をつけて優勝することが出来ました。

今回は開幕戦ということもあり、タイヤの変更が大きなポイントだったと思います。そんな中チームの方が走りやすいマシンを用意してくれたおかげで、ファステストラップもとれ、完璧なレースが出来たと思います。

これからは他のチーム・ドライバーもタイヤの特徴などを掴んでくると思いますし、新型マシンの開発も進んでくると思います。ここで気を緩めることなく、次のレースに向けもう一度気を引き締め、挑みたいと思います。今後も優勝を目指し頑張りますので、引き続きご指導、ご支援宜しくお願い致します。

TeamNAOKI with LE PRIX SPORT

吉田 広樹



Team Naoki

with

Lapsport
LE PRIX SPORT

〈NO.2〉